



- ★ 独立を志す方
- ★ リピート率を高めたい方
- ★ 企業内診断士とプロコンの二足のわらじを履きたい方

稼げる! プロコン育成塾

17期 第5回講義レポート

稼げる! プロコン育成塾 17期 第5回講義を、下記の通りご報告いたします。

■実施要領

開催日時	2017年10月21日(土) 10:00~17:30	
開催場所	東京都中小企業診断士協会 中央支部事務所 (東京都中央区日本橋堀留町)	
開催内容	プレゼンテーション	17期生
	「出版社の執筆企画」	講師: 亀田 憲(7期生)
	「稼プロ! OB生に聞く”成功の秘訣” ～企業内診断士との二足の草鞋～」	講師: 小野田直人(14期生) : 高橋利忠(15期生)
	特別講義「出版および執筆ノウハウ」	特別講師: (株)クオリティ・オブ・ライフ 代表 原 正紀 氏

■講義レポート

(1) プレゼンテーション

「話す」スキルとして、自由テーマによるプレゼンテーション。4回目となる今回は4名の塾生から発表の後、塾長、講師、運営チーム、17期受講生同士でフィードバックを行い、話すスキルの向上を図りました。発表者各自のテーマ選定や、プレゼンテーションの工夫は、回を追うごとに、バリエーションが広がり、レベルアップしていることが実感できます。



今回で塾生全員が、第1回講義の自己紹介スピーチ、5分間のプレゼンテーション、第4回講義(合宿)でのキャリアプランの発表と3回スピーチを経験し、様々な方向からフィードバックを受けました。

(2) 「出版社の執筆企画」

講師：亀田 憲氏（7期生）



今回の講義は、第3回で学んだ「書く」スキルについての実践の場として「出版社への執筆企画」を行いました。事前に塾生に対し、執筆企画案の提案を求めたところ、例年以上に多数の企画が出され、積極的なコミュニケーションが行われていました。亀田講師からの説明に従い、企画案ごとのチームに分かれたディスカッションを実施。提案者の発表に対して、講師陣や塾生同士がフィードバックを行なうことで企画案のブラッシュアップを計りました。

今後は自主的なチームとして企画案をすすめます。なお、過去の執筆実績は、稼プロ！ホームページに掲載されています。<http://kasepuro.com/kasepuro/kasepuro-t.html>

(3) 「稼プロ！OB生に聞く”成功の秘訣” ～企業内診断士との二足の草鞋～」

講師：小野田直人氏（14期生）、高橋利忠氏（15期生）

本講義では、ロールモデルの初の試みとして、独立診断士ではなく、企業内診断士として、診断士活動との二足の草鞋を履いた経験を発表しました。講師は、稼プロ！OB生の小野田講師と高橋講師。二人の異なるキャリアと視点から、起業での仕事と診断士活動の両立に至った経緯や活動実績、将来の展望まで、塾生の気になる点を語っていました。

講義後のQ&Aでは「現在、自分も企業内診断士であるが、実際どのように会社の理解を得ているのか？」「時間はどう調整しているのか？」など企業内診断士の塾生の持つ切実な悩みへの活発なやりとりがなされ、企業内診断士の塾生でも可能な、診断士の実務への取組について具体的なノウハウが伝授されていました。



(4) 特別講義「出版および執筆ノウハウ」

特別講師：(株)クオリティ・オブ・ライフ 代表 原 正紀氏

特別講義は(株)クオリティ・オブ・ライフ 代表取締役 原 正紀 氏による「出版および執筆ノウハウ」でした。

原代表は、行政や企業に人事制度やコンサルティング提案をしながら、行政の委員や大学講師など、産官学それぞれの分野で活躍されています。その傍ら、月刊企業診断の「挑戦する経営者」で15年間にわたり、経営者にインタビューする連載記事の執筆や多数の著書を出版するなど「書く」ことでもご活躍されています。

講義では、様々な経験に基づく実体験や理論、テクニックを惜しみなく披露頂きました。

原代表のインタビューの前提にある、「書くことや新たな人に会い、新しいことを始めることを楽しむ気持ちとたゆまぬ探求心」はプロコンを目指す塾生にとって貴重なアドバイスとなりました。

編集後記：

今回の講義で、キーワードとして上がったのは「人生100年時代」です。変化が早く、これまでの価値観が通じなくなる時代だからこそ、楽しみながら、学ぶことを止めない姿勢で生きていきたいと感じました。次回は2017年最後の講義とです。実りある2017年を過ごせますように！

(事務局:藤田 有貴子)

